

ゾーン	郷土の動物ゾーン		世界の動物ゾーン		
	郷土の森林	郷土の水辺	樹冠の世界	林床の世界	草原の世界
展示テーマ	郷土の森林	郷土の水辺	樹冠の世界	林床の世界	草原の世界
展示内容	現況の壮麗な照葉樹林を生かし、昔から人間の生活と密接に関わってきた森の動物とその生活を展示する。	現況のため池周辺を自然的環境へと復元することにより、生態的に多様で、なおかつ景観的にも魅力的な水辺の自然を展示する。	地球上で最も多様だといわれている熱帯雨林を中心に、普段意識することの少ない森林の樹冠の環境を展示する。	「樹冠の世界」と密接な関係にありながら、全く異なる生態をもつ林床や水辺の環境を展示する。	熱帯雨林との対比が顕著に表れ、かつ市民が親しみを覚えやすい大型草食獣を取り込むことができる、草原の環境を展示する。
設定環境	現況の樹林を生かした照葉樹林環境を設定する。一部、樹林が損なわれている部分などには、落葉樹林や草地などの環境を再現し、環境の多様性を図る。	現在のため池を中心に、水辺林や抽水植物群落等を造成し、一つのまとまった水辺環境を再現する。	現在わずかに残る斜面林と新たに常緑樹を植栽することにより、鬱蒼としたジャングルを再現する。	熱帯雨林の生態的関連性を明確に体感できるように、「樹冠の世界」の近辺に配置する。	イネ科低茎草地や有棘植物の疎林など、サバンナに見られる様々な環境を再現する。
展示方法	観覧者自身が歩き観察することにより、展示動物を見つけだすような擬似的な自然観察体験ができる展示とする。	原則的に「郷土の森林」と同じであるが、水中環境を見ることができる展示や、展示動物に十分近づくことができる八つ橋等を設ける。	観覧者自身が観察ブリッジに登り、熱帯雨林で行われている生態調査を疑似体験する展示を行う。	薄暗いジャングルの中を進む小道や奇妙な形をした熱帯植物に囲まれた広場、湿地や水辺などを配しジャングルウォークを体感できる展示を行う。	草原の中をさまよう園路を用意することにより、サファリ探検を疑似体験できるような展示を行う。
動物種	ニホンザル、タヌキ、ノウサギ、イノシシ  森林性鳥類、昆虫類（誘致）	コウノトリ、サギ類、カモ類、ツル類  水辺水中の鳥類、両生爬虫類、魚類、水生昆虫（誘致）	現在の展示種から、樹冠生活に適応した動物を中心に選定  テナガザル類、フランソアルトン、アンゴラコロブス  サイチョウ類、オオハシ類、インコ類、グリーンイグアナ	樹冠生活者とは、生活や体の機能が明確に異なり、比較が容易な動物を中心に選定  トラ、ゾウ、カニクイザル、ブタオザル  チンパンジー、キツネザル類	人気の高い大型草食獣と、草原特有の生活形を有する動物を中心に選定  パタスモンキー、ライオン、ミアキヤット、シマウマ、キリン ダチョウ、フラミンゴ